秋の全国交通安全運動

9月21日(金)～9月30日(日)

手をあげて 渡る笑顔を 守りたい

秋は、行楽やスポーツなどで外出する機会が増え、人や車の動きが活発になります。

また、秋の日はつるべ落としと言われるように、日没時刻が日増しに早くなることから、運転者にとっては歩行者・自転車が見えにくくなります。さらに夕暮れ時から夜間にかけては交通量が増えることもあり、高齢者を始めとした交通弱者が交通事故にあう危険性が高まります。

そこで、秋の全国交通安全運動として、次の重点実施項目に沿った運動を展開し、交通事故の防止を図ります。

町民の皆さんも一人一人が交通安全に対する意識を高め、交通事故の防止に努めてください。

重点実施項目

【子どもと高齢者を交通事故から守ろう】

○家庭では

・自宅周辺の危険箇所や事故にあわない安全な自転車の乗り方についての話し合いを通じて、交通安全意識を高める。

・ドライバーから目立つよう手を上げて横断する**ハンド・アップ運動**を推進する。

ハンド・アップ運動

横断中の交通事故が多発しています。子どもやお年寄りも手を上げて横断しましょう。

・歩行者は、道路を横断するときには手を上げ、ドライバーに横断することをアピールしましょう。

・ドライバーは、手を上げている歩行者を見かけたら、思いやりの気持ちを持って、横断者の手前で止まりましょう。

・ドライバーには、目と目を合わせ、感謝の気持ちを伝えましょう。

○運転者は

・子どもや高齢者を見かけたら、速度を落とすなどの思いやり運転を実践する。

【夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故をなくそう】

○家庭では

・家族は高齢者に対して、夜間の事故を防ぐために明るい服装の着用や靴、衣服などに反射材を付けるように助言する。

※防災交通課で反射タスキを無料配布しています。

○運転者は

・**ライド&ライト運動**（日没一時間前点灯）を実施する。（九月は午後五時を目安に前照灯を点灯）

・特に夕暮れ時と夜間・早朝は、速度を落とすよう意識する。

【すべての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう】

○家庭では

・出かける時は必ず全ての座席のシートベルトの着用を確かめてから発進する。

・シートベルトやチャイルドシート着用の大切さについて話し合う。

○運転者は

・同乗者には、シートベルトの着用を徹底し、確認ができたら出発する。

・子どもの体格に合ったチャイルドシート・ジュニアシートを選び、正しく使用する。

【飲酒運転を根絶しよう】

○家庭では

・飲酒の予定がある日の外出は、帰宅の方法について話し合っておく。

・行楽の行き帰りは無理のない計画を立て、運転手には絶対に飲酒をさせない。

○運転者は

・飲酒を伴う会合などへの出席は、公共交通機関を利用、代行運転や家族の送迎を依頼する。

街頭啓発活動を実施

秋の全国交通安全運動期間中の九月二十五日(火)に「知多半島オールファミリー交通安全一斉街頭啓発活動」を実施します。

半田警察署管内一市五町が、合同で主要交差点とその付近で一斉街頭啓発を展開します。

皆さんも、近くの主要交差点またはその付近で啓発の協力をお願いします。

□日　時　九月二十五日(火)
午前七時半～午前八時(小雨決行)

交通安全キャンペーンを実施

宮津団地交通少年団、交通安全協会半田支部阿久比分会、保育園保護者会、半田警察署署員らによる交通安全キャンペーンを実施します。

□日　時
九月二十二日(土・祝)　午前十時～

□場　所
オアシス大橋東交差点

□問い合わせ先　防災交通課交通係
☎(48)1111(内277)